

大学図書館における

自学自修施設の

整備と今後の活用 ラーニング commons の評価と活用の方策

大学図書館に続々と設置されているラーニング・commons ですが、真に活用できているでしょうか？このたび、経営学の視点からサービスのデザインや活動評価について論じていただき、ラーニング・commons を軸とした学修支援機能を強化するための方策を探りたいと思います。図書館関係者のみならず、教員、高等教育に関心のあるすべての方のご参加をお待ちしております。

【講演1】

「本を媒介としたサービスのデザイン
：理論と実践」

京都大学経営管理大学院 山内 裕 講師

【講演2】

「公共のサービスを評価する」

京都大学経営管理大学院 前川 佳一 特定准教授

【事例報告1】

「京都大学附属図書館
ラーニング・commons 設置における学内協働」

京都大学情報環境機構／学術情報メディアセンター
コンテンツ作成室 室長

元木 環 助教

【事例報告2】

「京都大学附属図書館ラーニング・commons における
学習支援活動および学習サポートデスクの利用状況」

京都大学附属図書館情報サービス課

赤澤 久弥 課長補佐

●パネルディスカッション



日時：平成26年12月11日（木）13:10～17:00(受付開始12:45)

場所：京都大学附属図書館3階 ライブラリホール

<入場無料：要申込> 本テーマに関心がある方はどなたでもご参加いただけます。

詳細/申込：<http://www2.kulib.kyoto-u.ac.jp/kenshu/?p=3798>

主催：京都大学図書館機構

共催：国立大学図書館協会近畿地区協会

協賛：大学図書館近畿イニシアティブ

お問い合わせ

京都大学附属図書館総務課 TEL：075-753-2691 FAX：075-753-2629

【略歴】

京都大学経営管理大学院 山内 裕 講師

【研究分野】 組織論、エスノグラフィ、技術経営、サービス科学

【研究テーマ】 デザインイノベーションの経営学研究・サービスにおける顧客インタラクションの分析
(鮎屋や料亭)・企業における研究開発マネジメント

【経歴】 京都大学工学部卒業(1998年)、同情報学研究科修士(2000年)、

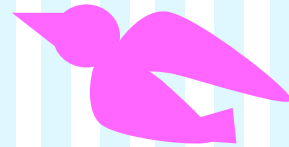
UCLA Anderson School 経営学博士(Ph.D. in Management)(2006年)、

Palo Alto Research Center (a Xerox Company) 研究員を経て、2010年9月より現職。

サービス学会理事。エスノメソドロジーの観点から、組織における実践(practice)や

相互行為(interaction)の研究に従事。京都大学デザインスクールにて、デザインエスノグラフィ、

組織デザイン、サービスデザインのテーマで教育・研究を行っている。



【略歴】

京都大学経営管理大学院 前川 佳一 特定准教授

【研究分野】 イノベーション、事業企画

【経歴】 京都大学工学部卒業(1982年)、三洋電機株式会社入社、映像機器開発に従事。

ボストン大学経営大学院修了:MBA(1995年)。三洋電機にてデジタル機器の技術企画、事業企画に従事。

神戸大学大学院経営学研究科博士課程後期修了:博士(経営学)(2007年)。

2008年4月より京都大学大学院経営管理研究部サービス・イノベーション准教授。

2009年7月より京都大学大学院経営管理研究部経営研究センター特定准教授(特別教育研究)。

【著書】「パズル理論」(単著、白桃書房)、「1からのサービス経営」(共著、碩学舎)。



【見学について】

・京都大学附属図書館ラーニング・commonsの見学(17:00-17:30)

本講演参加者で、会場館1階のラーニング・commonsを見学ご希望の方は、17:00~17:30の間、自由にご見学いただけます。